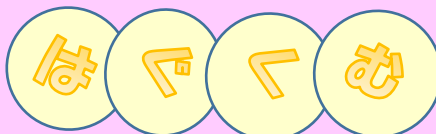


# 四日市市幼児教育センター

令和5年6月発行



## センターだより



夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども



四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002

### 幼児教育インタビュー

#### 「人材育成について」語る

うれしかった！元気になった！ この人なら、言える。聞いてもらえる。



四日市私立幼稚園協会会長  
松永 高弘 様

四日市私立幼稚園協会 会長 松永高弘あおい学園園長先生に人材育成について幼児教育センターへのエールを込めて、語っていただきました。

——先ほど園内を見学させていただきましたが若い職員さんも多いですね。

人材育成について気をつけていらっしゃることを教えていただけますか。——

「チームあおい」に向けた組織マネジメント構築のために、「子ども軸」という共通の理念をもとに、若手職員が「わからない？」と思うことをどう表現し、ボトムアップをどのように実現していくのか。そのために、まずお互いが認め合い、理解し合い、肯定的に受け入れることができる関係づくりと「パートナー制」という仕組みづくりを行い、同僚性を育てながら、日々感じたことや疑問に思ったことを気軽に言える、聞ける、話し合える職場環境づくりに取り組んでいます。

それらの内容を仕分けし、全体共有と個別対応の手立てをとったことで、子ども理解が深まり、職員間や子ども同士の肯定的な雰囲気がさらに広がってきました。これは、離職率を下げるだけでなく、保育の質に大きくかわることだと思います。保護者様にも「子ども軸」の考え方が浸透しつつあります。



——どのように研修を進めていらっしゃいますか？——

経験豊富な教育アドバイザーによる保育指導、相談を継続的に行っています。若手にとって、目の前で、直に教えてもらえることは大きな学びです。1日じっくりと観察参加いただいて、個別の対応の仕方や声のかけ方から教えていただいています。保育者の“素敵”も伝えていただいていますので、保育者が嬉しく、元気になっているようです。アドバイザーは、保育者の良き理解者であり、保育力の向上に大きく貢献していただいています。



——本日は長い時間お話を聞かせていただきありがとうございました。若手職員の視線に立ち、私たち幼児教育センターの職員もどのように実践していけばよいか参考にしていきたいお話がたくさんありました。今後とも、幼児教育センターへの温かい励ましをよろしく願いいたします。——

## 幼児教育センター実技研修室に来てみました。

紙コップやスポンジなど身近にある物を使って、明日からの保育にすぐ役立つものを作って、持ち帰り、子どもたちとの楽しい保育に生かしていければと思い、教育アドバイザーはあなたのもとにおじゃまし、実技室や図書室であなたをお待ちしています。そしてあなたの保育の手助けになればと思っています。

6月は、紙コップを使った簡単な製作をしたり、絵の具を使い季節の植物を描いたりしました。制作しながらおしゃべりがはずみました。



毎月、季節を少し先取りできるアイデアを提供できるように準備しております。

図書室では、CD、DVDも借りられます。



### おしゃべり会

2023・6・8(木) 17:00～

城北交流会館3階フロア



### 集合研修が始まりました。

今月は、6月2日の研修をはじめ、集合型の研修が始まりました。Zoomやアーカイブなどのオンライン研修と違い、参加する時間などの制約がありますが、実際に人や物に触れることができる集合型は、会うからこそ実感できる体験が含まれているのではないのでしょうか。保育と同じように「ワクワクする研修体験」を目指したいと思います。そして、プラス、「おしゃべり会」を設定させていただき、センター3階フロアで気兼ねなく、懐かしい人、新しい人との出会いつながりを作っていただきたいと思います。